

Fight!
Fukushima!

がんばろう
ふくしま!

週刊 避難者応援情報紙

浜通り ×

10月11日発行

Vol.616

さんじょうライフ



皆様の生活する上での不安や疑問を少しでも解消していただくための情報紙として、毎週お届けします。

目次

●「みなみそうまトピックス」から

- ・株式会社RDSとの連携協定締結 ----- 2
- ・豊寄贈贈呈式 ----- 2

●被災自治体News

- 南相馬市 ----- 3
- 浪江町 ----- 5
- 双葉町 ----- 6

●新潟県

- ・県外避難者の受入状況 ----- 14

9/30 土

双葉町HP
「町長の活動状況」から

ふたばスポーツフェスティバル2023

9月30日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生(アーカイブ広場)および双葉町産業交流センターにおいて、「ふたばスポーツフェスティバル2023」が開催され、約130人が参加して、スポーツを通じた交流を行いました。



9ページをご覧ください。

9/25 月

株式会社RDSとの連携協定締結

市は、9月25日南相馬市産業構造センターにおいて、株式会社RDSとの連携協定を締結しました。RDS社は、モータースポーツ向け製品の開発・製造から、アスリート向けパラスポーツ用具開発、福祉機器・医療用機器に至るまで、幅広い事業を開発しています。

今回締結した協定内容のポイントは次のとおりです。

1. RDS社の歩行解析システム等の開発促進に向けた市内実証場所の確保及び、調整に関する事項
2. 市内病院や関連施設、イベント等における健康課題の早期発見に資する取組に関する事項
3. RDS社の歩行解析システム及び製品等の開発における市内企業等との連携に関する事項
4. 市民の健康診断等における健康維持の取組に関する事項
5. 新産業の創出及び南相馬市の認知度向上に関する事項

当日は株式会社RDSの代表取締役社長杉原行里様が出席し、門馬市長と共に協定書へ署名しました。



9/25 月

畳寄贈贈呈式

9月25日、福島県畳工業組合から市内中学校へ畳10畳を寄贈いただきました(原町第三中学校:8畳、原町第二小学校:2畳)。

福島県畳工業組合は、少子化現象に伴う児童、生徒の減少で発生した余裕教室の有効活用として畳敷きのスペースを創り、遊び場や交流の場を生み出すことという考えのもと、毎年各支部ごとに地域の市町村に畳を贈る事業を実施しています。





南相馬市からのお知らせ

市総合防災訓練

9月29日HP更新

市では、11月1日(水)に総合防災訓練を開催します。今回は令和元年東日本台風クラスの風水害を想定して実施します。

実施日時

11月1日(水) 午前10時～正午

- ・ 午前10時に避難指示が発令されますので避難所へ避難してください。
- ・ 午前10時30分から各避難所の個別訓練を開始します。

実施場所

小高区 小高中学校体育館
鹿島区 さくらホール
原町区 大甕小学校体育館、原町第二中学校体育館

避難所での訓練内容(一般市民参加訓練)

■各避難所共通

●避難所運営・資機材操作訓練

停電を想定し、発電機や投光器等の取扱い訓練を行います。

●要配慮者避難訓練

要配慮者(障がい者、妊産婦等)の避難スペースも含め、段ボールパーテーション等を利用して、避難スペースのエリア分けを行います。

■小高区 小高中学校体育館

●電気自動車からの給電訓練

災害協定を締結している事業者より電気自動車を借り受け、停電を想定した避難所で使用する電気機器へ給電を行います。

■鹿島区 さくらホール

●ペット同行避難訓練

あらかじめ依頼した方によるペットとの同行避難を行いますので、ご自由に見学ください。

注意 今回は一般参加者からペット同行避難訓練を募っていないため、ペットを連れての参加はご遠慮ください。

次ページへ続きます 

■原町区 大甕小学校体育館、原町第二中学校体育館

●物資運搬訓練

防災備蓄倉庫などからの物資運搬訓練を行います。

その他の主な訓練内容

●情報伝達訓練・情報収集共有訓練

防災行政無線・防災メール・緊急速報メール・災害時情報共有システム(LINE)を用いて避難指示等の情報伝達を行います。

●住民避難訓練

情報伝達訓練による避難指示の発令後、各自参加する避難所へ避難を行います。

●災害ボランティアセンター設置立上げ訓練

原町区福社会館において、社会福祉協議会を中心に災害ボランティアセンターの設置立上げ訓練を行います。

当日、南相馬市にお越しの際はご注意ください。

訓練当日午前10時に防災行政無線、防災メール、緊急速報メールなどの配信を行います。

訓練ですのでお間違えのないようお願いします。

問い合わせ

復興企画部 危機管理課 防災係

TEL 0244-24-5232




今週の番組

番組内容 [10/6~10/13]

- 毎時 00分～ オープニング&今週の番組
- 02分～ 南相馬市第三次総合計画 CONCEPTMOVIE
- 03分～ 令和5年度南相馬市芸術文化協会事業 鹿島区芸能発表大会
- 21分～ にこにこ広場 セタまつり
- 28分～ 小高園芸団地引渡式 小高の地に新しい風を
- 35分～ 復興支援公演in南相馬 鹿島灘太鼓
- 42分～ 気をつけろ 万引き編
- 43分～ 四季百景～南相馬 山紫水明の間から～
- 49分～ 南相馬見聞録 多珂神社
- 56分～ minamisoma5.0 “産業集積のまち”編
- 59分～ リクエストアワーのお知らせ



 **浪江町からののお知らせ**

浪江町民の居住状況(9月30日現在)

【都道府県別】(福島県外)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	53	長野県	52	愛媛県	11
青森県	39	岐阜県	17	高知県	5
岩手県	33	静岡県	55	福岡県	20
宮城県	916	愛知県	36	佐賀県	4
秋田県	37	三重県	7	長崎県	11
山形県	106	滋賀県	6	熊本県	6
茨城県	943	京都府	31	大分県	5
栃木県	451	大阪府	64	宮崎県	10
群馬県	132	兵庫県	22	鹿児島県	7
埼玉県	644	奈良県	5	沖縄県	19
千葉県	545	和歌山県	-	国外	13
東京都	809	鳥取県	-	合計	5,919
神奈川県	410	島根県	5		(前月 5,921)
新潟県	274	岡山県	23		
富山県	15	広島県	8		
石川県	19	山口県	1		
福井県	7	徳島県	1		
山梨県	37	香川県	5		

【福島県内市町村別】

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
福島市	2,211	天栄村	1	三春町	65
会津若松市	171	下郷町	3	小野町	13
郡山市	1,609	只見町	1	広野町	50
いわき市	2,991	南会津町	7	檜葉町	22
白河市	252	北塩原村	2	富岡町	32
須賀川市	146	西会津町	4	川内村	7
喜多方市	17	磐梯町	3	大熊町	5
相馬市	391	猪苗代町	18	浪江町	1,386
二本松市	907	会津坂下町	19	葛尾村	5
田村市	71	会津美里町	9	新地町	79
南相馬市	1,830	西郷村	112	飯舘村	2
伊達市	104	泉崎村	7	県内	1
本宮市	452	中島村	2	合計	13,424
桑折町	115	矢吹町	40		(前月 13,447)
国見町	24	棚倉町	6		
川俣町	46	塙町	2		
大玉村	171	石川町	5		
鏡石町	7	古殿町	1		

避難者総数

19,343

(前月 19,368)



双葉町からのお知らせ

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金等の支給について

10月6日HP更新

物価・賃金・生活総合対策として、電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税均等割非課税世帯や令和5年1月以降に新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあった世帯を支援するために、対象世帯に給付金および助成金を支給します。

対象世帯

(1) 住民税非課税世帯

令和5年6月1日時点で世帯全員の令和5年度住民税均等割が非課税である世帯

注意 双葉町条例により、減免となっている方も含みます。また、課税者の扶養親族のみで構成されている世帯は除きます。

(2) 家計急変世帯

個別の申請が必要です。必要手続きなどについてご案内しますので、双葉町役場健康福祉課福祉介護係までご連絡ください。

支給額

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 1世帯当たり 3万円

手続きについて

(1) 住民税非課税世帯

●住民税非課税世帯(世帯に未申告者なし)

手続きは不要です。令和4年度実施の「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金(5万円)」で給付実績のある口座へ振り込みを行います。

●住民税非課税世帯(世帯に未申告者あり)

給付金を受け取るには、申請が必要です。令和4年度中の収入に関する申告を行っていない方につきましては、別途通知します。

(2) 家計急変世帯

家計急変世帯の方が本給付金等の支給を希望される場合は、双葉町健康福祉課福祉介護係までご連絡ください。

次ページへ続きます 

関連情報

(1)の対象世帯の方につきましては、令和5年11月中旬の振り込みを予定しています。それ以外の方については、順次対応します。

※ 本給付金の受給は1回までです。(1)の対象世帯の方が、(2)の対象世帯として申請・受給することはできません。

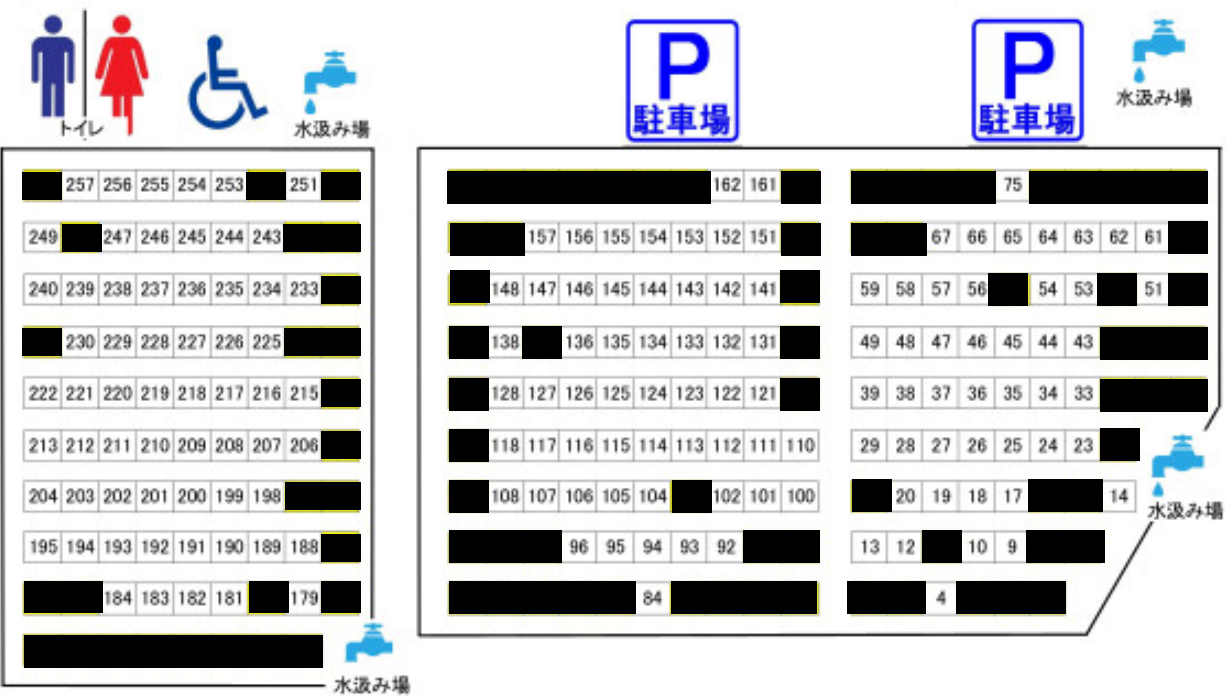
※ 支給日につきましては、あくまでも予定となりますので変更となる場合があります。詳細についてはホームページにて、その都度お知らせします。

問い合わせ 健康福祉課 TEL 0240-33-0131

寺内前霊園の申し込みおよび利用状況について
10月3日HP更新

寺内前霊園の自由墳墓の利用状況をお知らせします。

寺内前霊園 利用状況 令和5年10月3日現在



黒色は使用されている区画です。
寺内前霊園の利用を検討されている方は、白い区画の番号(空き区画)をお選びいただき、住民生活課へご相談ください。

次ページへ続きます

これまで町内の共同墓地や寺院で使用していた墓石は13,000cpmを超えない場合に限り、寺内前霊園へ移転することができます。ただし、霊園には設置基準がありますので、事前に住民生活課へご相談ください。

なお、墓石等の移転の前には東京電力HD(株)双葉町グループ(TEL:080-6847-2986)に線量の測定を依頼することができます。

寺内前霊園は、特定復興再生拠点区域内の長塚字寺内前にあります。

寺内前霊園へは一時立入車両通行証の取得をすることなく立入りができるようになりました。

※ 火災防止のため、線香をあげる場合は、火の取り扱いに十分注意をして、必ず消火を確認してからお帰りいただきますようお願いいたします。

▶ 寺内前霊園の申込み及び利用状況について(双葉町ホームページ)

<https://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/6061.htm>



問い合わせ

住民生活課

TEL

0240-33-0126

令和5年度県民健康調査「小児健康診査」受診のお願い

10月6日HP更新

県民健康調査「小児健康診査」につきましては、6月下旬に県内の対象者へ、7月上旬に県外の対象者へそれぞれご案内しています。

この度、福島県立医科大学 放射線医学県民健康管理センターから、未受診者へ受診お願いのハガキをお送りしています。

小児健康診査は無料です。

7月から12月末まで実施しています。

あらかじめ、医療機関への電話予約が必要です。

受診録等を紛失された場合は、以下の問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

公立大学法人福島県立医科大学
放射線医学県民健康管理センター

TEL 0240-33-0131

(平日9時から17時まで。お掛け間違いないようにご注意ください。)

双葉町HP「町長の活動状況」から

ふたばスポーツフェスティバル2023

9月30日

9月30日、東日本大震災・原子力災害伝承館の芝生(アーカイブ広場)および双葉町産業交流センターにおいて、「ふたばスポーツフェスティバル2023」が開催され、約130人が参加して、スポーツを通じた交流を行いました。

開会式で伊澤町長は「皆さんと一緒に体を動かして参加者同士の交流を深めるとともに、スポーツを通じて心身のリフレッシュをはかり、健康増進の一助としてほしい」とあいさつし、青空の下、町民の皆さんと一緒にさまざまな競技に汗を流しました。



岩田経済産業副大臣・内閣府副大臣が来庁

9月27日

9月27日、岩田和親経済産業副大臣・内閣府副大臣が双葉町役場を訪問され、伊澤町長、伊藤町議会議長と懇談しました。

伊澤町長は、副大臣就任のお祝いの言葉を述べ、被災12市町村の復興状況がそれぞれ違い、双葉町は昨年、避難指示が解除されてまだ1年が過ぎたばかりで他の町村とは復興のスピードに大きな差があることを説明し、更なる支援についてお願いしました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

次期駐日ベルギー王国大使が双葉町役場を表敬訪問

9月22日

次期駐日ベルギー王国大使となるアントワン・エベラー氏と一等書記官のヨレン・キッパース氏が東日本大震災・原子力災害伝承館を視察された後、双葉町役場を表敬訪問され、伊澤町長と懇談しました。

懇談では、伊澤町長が歓迎のあいさつを述べ、アントワン・エベラー氏は通訳を通して、震災と原発事故からの双葉町の復興状況について質問され、伊澤町長は丁寧に説明しました。



土屋復興大臣がご訪問

9月21日

9月21日、土屋品子復興大臣、高木宏壽副大臣および平木大作副大臣が就任あいさつのため双葉町役場に来庁されました。伊澤町長は伊藤町議会議長とともに要望書を手渡し、要望内容について説明するとともに意見交換が行われました。

伊澤町長は大臣就任のお祝いを述べ、帰還困難区域の避難指示解除を実現するため、特定帰還居住区域のインフラ整備に必要な支援を行うことや、今後も新たな課題が山積している双葉町の現状を説明し、第2期復興・創生期間以後も、各種交付金・補助金など、必要な予算規模を確保し、十分かつきめ細かい支援を行っていただくことを強く要望しました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

宮城県女川町職員が町内を視察

9月20日

昨年度まで職員の派遣をいただいていた女川町から役場職員約20人が双葉町役場を訪れ、伊澤町長と意見交換を行いました。

伊澤町長は職員の皆さんに震災時の状況や、町の復興状況について説明するとともに、職員の皆さんからの質問などに答えました。

女川町職員の皆さんは、町長との懇談の後、役場庁舎内や駅西住宅などJR双葉駅周辺を視察されました。



菅野元飯館村長講演、町内視察

9月20日

9月20日、菅野典雄元飯館村長を講師に迎え、町職員向けに「もう一度創ろう 新しい双葉町」と題して講演をいただきました。

講演では、原発事故の特異性に触れ、飯館村の対応や帰還について詳しく説明があり、災害対応にはバランス感覚、柔軟性、創造性、気づきが大切であること、原発事故から学ぶところを中心に話をされ、職員からの質問に答えていただきました。

講演終了後には、伊澤町長の案内で、中間貯蔵施設や帰還困難区域内、中野地区復興産業拠点、駅西住宅などを視察いただきました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

新山神社・秋葉神社竣功式 例大祭

9月18日

9月18日、新山神社・秋葉神社が新山地区の旧中央公園内に移転、再建され、竣功式、例大祭が行われました。また、約20年ぶりに境内で新山芸能保存会による神楽の奉納が行われました。

伊澤町長は、「東日本大震災と原発事故による全町避難により大変な状況でありましたが、氏子の皆さまはじめ新山、下条行政区の皆さまは、先祖代々受け継がれてきた新山・秋葉神社を大切に思い、ふるさとのつながりを維持してこられました。そして、地区住民の念願でありました新山・秋葉神社の再建が現実となり、本日、竣功式が執り行われることになったことは町としてもこの上ない喜びであります」とあいさつし、社殿の完成を祝いました。



目迫再会の集い

9月17日

9月17日、浪江町いこいの村なみえにおいて第8回目迫再会の集いが開催され、徳永、平岩副町長とともに出席しました。

伊澤町長は交流会のあいさつの中で、町の復興状況や、特定帰還居住区域について説明し、参加した皆さんと懇談しました。



仙台二華高校との意見交換会

9月16日

9月16日、仙台二華高校の生徒11人とふたば未来学園高校の生徒2人が教職員とともに双葉町役場を訪れ、伊澤町長と意見交換を行いました。

仙台二華高校では、原子力発電所事故からの復興、また避難した人のその後について外国人に英語で説明できるようにすること、また日本のエネルギー政策の方向性とまちづくりについて調べるといった課題が出ており、生徒たちはそれぞれ質問を準備して伊澤町長に積極的に質問をしていました。



双葉町HP「町長の活動状況」から

双葉町敬老会を開催

9月15日

9月15日、いわき市植田八幡台やまたまやにおいて令和5年度双葉町敬老会を開催しました。各避難先から約130人の高齢者の方々にご参加いただき、長寿を祝いました。

伊澤町長は「4年ぶりに皆さんの元気なお姿を拝見し、また、元気な声を聞くことができうれしく思います。人生の先輩である皆さまから双葉町の復興のために前を向いて進みなさいと背中を押していただけたものと感じています」とあいさつしました。

アトラクションでは、箏奏者大川義秋さんにより敬老会特別ステージが行われ、会場中は美しい箏の音色が響き渡り、参加された皆さんは楽しい一時を過ごされました。

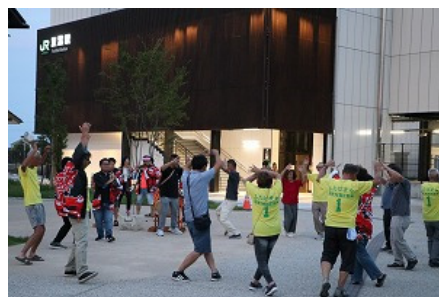


双葉町結ぶ会 夏祭り

9月2日

9月2日、駅西住宅において、双葉町結ぶ会主催の夏祭りが開催されました。結ぶ会の会員が自らが飲食物やゲームの出店を切り盛りし、スイカ割り、花火などのイベントを考え実施する手作りのお祭りで、未来双葉会が協力し、相馬盆唄の太鼓と笛や唄の演奏に合わせて盆踊りを踊りました。

伊澤町長は「夏祭りを会員の皆さんで相談し合って、協力しながら工夫を凝らしたお祭りが開催できますことを大変うれしく思います。皆さんと一緒に夏祭りを楽しみたいと思います」とあいさつしました。



県外避難者の受入状況

市町村把握分

市町村	人数	市町村	人数	市町村	人数
新潟市	750	燕市	49	聖籠町	-
長岡市	174	糸魚川市	3	弥彦村	7
三条市	54	妙高市	5	田上町	-
柏崎市	449	五泉市	16	阿賀町	-
新発田市	135	上越市	23	出雲崎町	-
小千谷市	7	阿賀野市	31	湯沢町	7
加茂市	9	佐渡市	23	津南町	-
十日町市	12	魚沼市	2	刈羽村	22
見附市	14	南魚沼市	3	関川村	-
村上市	33	胎内市	26	粟島浦村	-
		合計	1,854		

(前月 1,863)

9月30日現在

区分	人数
1 公営住宅・雇用促進住宅等	5
2 借上げ仮設住宅	30
3 賃貸住宅・持家・親戚知人宅等	1,819
1+2+3 (市町村把握分)	1,854
4 病院	0
5 社会福祉施設	3
合計	1,857

(前月 1,866)

問い合わせ

防災局 防災企画課 防災事業係

TEL 025-282-1606

避難先住所等の届け出について

東日本大震災に伴い避難されている方で、次のような場合は、全国避難者情報システム(避難者名簿)に登録されている内容を変更する必要がありますので、ご連絡ください。

- ・ 転居したので住所が変わった(変わる予定である)
- ・ 家族構成が変わった
(子が進学などで転出、帰還した家族がいる など)
- ・ 避難生活が終了した(避難の意思を有しなくなった)

連絡先

三条市 福祉課 福祉・公営住宅係

TEL 0256-34-5405

三条市に避難している世帯数と人数(2023.10.11現在)

市町村名	世帯数	人数
小高区	13	33
原町区	3	3
南相馬市 計	16	36
浪江町	3	10
双葉町	1	1
郡山市	3	7
合計	23	54

発行/三条市総務部政策推進課 三条市旭町二丁目3番1号
Tel 0256-34-5511